

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころや市民の皆さんの活動の様子、まちで見かけたほっとな話題を紹介しします。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索



6月18日(火)

日本最大級のビオトープで環境学習

早崎町にある「早崎内湖ビオトープ」で、びわ北小学校4年生が今年も観察会を行いました。

早崎内湖は昭和39年に干拓田となりましたが、米の生産過剰などで、元の内湖に戻そうという計画が持ち上がり、平成13年からビオトープとして水棲生物の復元調査を行っています。

この日は児童たちが、地引き網やペットボトルの生物捕獲器を使って、様々な水生生物を採取し、名前や生態の学習をしていました。

6月22日(土)・23日(日)

とんてんかんin鍛冶屋

古くから野鍛冶で栄えた「鍛冶屋町」。その伝統を復活させ、まちづくりにつなげようと、市の文化財に指定されている鍛冶小屋で野鍛冶の作業が行われています。

今回のイベントは、その活動をさらに発展させ、地域内外に発信していこうと、町内をあげて開催されました。

当日は、鍛冶体験やペーパーナイフづくり、町内作家による展示会、田舎料理バイキングなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



6月23日(日)

からだを使ってコミュニケーション!

お父さんと子どもがふれあう時間を増やしてもらおうと開催された「親子体操」に、市内から20組の親子が集まりました。

講師が紹介するプログラムには、お父さんの股の下をくぐったり、伸ばした足の上に乗る、「飛行機」をするなど、様々な体操があり、参加した親子はスキンシップをとりながら、身体を動かしました。

「上手にできたね」とお父さんが声をかけると、子ども達の笑顔がはじけました。

6月29日(土)

湖北の成長プロジェクト ～次世代エネルギーフォーラム～

長浜青年会議所と市が共催したこのフォーラム。市内を中心に、幅広い年代の150人が参加しました。

まず、エネルギーの地産地消がもたらす効果についての講演を聞いたあと、参加者たちは10のグループに分かれ、エネルギーと湖北の未来について議論しました。

それぞれのグループからは、湖北の自然や住民の気質がうまく結びつくエネルギーの活用方法について、たくさんの意見や提案があり、大変有意義な討議会となりました。

